

恋愛鑑賞

梗概

天界では人間のカップルを映し出したドキュメンタリーDVDが流行していた。

天使の小川（50）はその恋愛模様に酔いしれ、一日中テレビの前に張り付いている。

そんな小川に嫌気が差した妻百合子（50）は友人の勧めから「恋愛鑑賞バスター」を購入し、DVDレコーダーにこっそり取り付け
る。

その夜、今井は井上冬馬（18）と林えりこ

（20）が織りなす恋愛の鑑賞が始めるが、
異変に気づく。

恋愛鑑賞バスターの機能によって映像内には「♂ゲージ」と「♀ゲージ」なるものがテロップで表示されるようになっていた。

不審に思う今井をよそにゲージが出た状態で
映像は続き、甘酸っぱい恋模様とは裏腹に荒
ぶる♂と♀のゲージ。

今井はゲージが性的な意味を持つことを理解
し、恋愛の美しさの裏に潜むどす黒さに気づ
かされる。

恋愛鑑賞に興味を失った小川は百合子の思惑
通り所有していたDVDを処分するのだっ
た。

《登場人物》

井上冬馬 (18) 大学生

林えりこ (20) 大学生

小川 (50) 恋愛鑑賞マニア

百合子 (50) 小川の妻

亮子 妻の友人

由香 妻の友人

家電量販店の店員

○カフェ・店内（天界）

百合子（50）、亮子、由香の三人、話している。

三人とも、天使の輪っかと翼がついている。

百合子、コーヒーを飲む。

亮子「聞いて。最近さ、娘が恋愛鑑賞にハマっちゃって」

百合子「えーほんと？　ウチもそうなの」

亮子「あら。息子さん？」

百合子「ううん。旦那」

亮子「え」

百合子「休みの日は一日中部屋に閉じこもってテレビにかじりついてる。今日だってきつと観てるわ」

○小川家・書斎（天界）

室内の棚にずらりと並んだDVD。

DVDの背表紙には「坂井結芽と富樫光

輝」「田中アリスと山田竜之介」など男女の

名前が書かれている。

天使の輪っかと翼がついた小川
(50)、テレビに釘付けになっている。

テレビ画面には駅のホームに立つ二人の
男女(幸四郎と華音)。

○駅のホーム

幸四郎と華音、見つめ合う。

幸四郎「お互いのために別れよう」

華音「(寂しげに頷く)」

○小川家・書斎(天界)

小川、むせび泣く。

画面にエンドロールが流れる。

小川、大きく息を吐く。

小川、余韻に浸っている。

○カフェ・店内(天界)

亮子「でもさ、男の人が見ても楽しいの
かな。人間の恋愛ドキュメンタリーなんて」

百合子「(ケーキを食べながら)ほんとよ
ね。もうすっかりジャンキーで」

○小川家・書斎(天界)

小川、スマホをいじっている。

レビューサイトに以下の感想を書き込んで
いる。

「評価 ☆5」

「将来のために別れを切り出した幸四郎
の決断に男泣きした。華音もよく受け入れ
た。ビューティフルだ」

○カフェ・店内(天界)

百合子、ケーキを食べ終わる。

百合子「(ため息)そのせいで家事もしなく
なったし、何とかやめさせたい」
由香「(ぽつりと)：ねえ。私、いい方法知
ってる」

百合子「：？」

○小川家・書斎（天界・数日後）

小川、入ってくる。

小川、DVDが並んだ棚の前に立つ。

小川、そのうちの一本を手に取る。

小川「今日はこれにするか」

パッケージには「井上冬馬と林えりこ」と書かれている。

小川「（あらすじを読む）ウブな青年の初恋は二歳年上のお転婆娘だった：か。うむ」

小川、DVDをDVDレコーダーにセットする。

小川、テレビの前に座る。

テレビ画面に映像が映し出される。

○図書館・中

以下、DVDの映像内下部にゲージバーのついた「♂」（雄）と「♀」（雌）のアイコンがテロップで表示され続ける。

井上冬馬（18）、本を探している。

すぐ近くで、林えりこ（20）、本を探

している。

○小川家・書齋（天界）

小川「（ゲージを見て）…？」

○図書館・中

冬馬、本棚から一冊の本を手取る。

えりこ、同じタイミングで同じ本を手取る。
取る。

お互いの手が触れる。

冬馬「あ…」

冬馬、えりこを見る。

冬馬「すみません」

冬馬、足早に去ろうとする。

えりこ「あ。待ってください」

冬馬、足をとめる。

えりこ「どうぞお先に」

えりこ、本を差し出す。

冬馬「え」

えりこ「他の本を探しますから」

冬馬、無言で本を受け取る。

えりこ、本棚を物色する。

えりこ、しゃがみ込んで耳の髪をかきわける。

冬馬、その姿に見とれる。

ゼロだった♂ゲージが半分まで上昇する。

画面、止まる。

○小川家・書斎（天界）

小川、リモコンで映像を一時停止している。

小川「なんだ、このゲージは」

百合子、ドアの隙間から室内をのぞき込んで小川の様子を伺っている。

○家電量販店・店内（天界・数日前）

百合子、店内を見回している。

百合子、「恋愛鑑賞バスター」を見つける。

百合子「由香さんがいったの、これかしら」

百合子、近くの店員に声をかける。

百合子「すみません。これ、どういう商品ですの？」

店員「恋愛鑑賞バスターですね。恋愛鑑賞がやめられずにお困りの方へ向けた商品です。

DVD再生機の裏側に取り付けるだけなの

で、誰でも簡単にセッティングできます。これさえあれば一気に悩み解決」

百合子「本当ですか？」

店員「（自信たっぷり）はい」

○小川家・書斎（天界）

小川、首をかしげている。

小川、再生ボタンを押す。

○図書館・中

映像、動き出す。

♂ゲージが半分たまっている。

冬馬、えりこに見とれている。

○冬馬の部屋（夕）

♂ゲージ MAX 近く。

冬馬、寝転がって本を読んでいる。

冬馬、集中できない。

冬馬、立ち上がり、トイレに行く。

床に置かれた本の表紙が夕日の光に照ら

される。

タイトルは「純愛物語」。

と、♂ゲージ、一瞬 MAX に振り切れ、

萎むようにゼロになる。

冬馬、トイレから出てくる。

○図書館・中（数日後）

♂と♀ゲージ、互いにゼロ。

冬馬、本を返しにやってくる。

冬馬、えりこと鉢合わせになる。

冬馬「あ」

えりこ「あ」

冬馬「（キョドって）こ、これ、読みました」

えりこ「（おかしそうに笑う）」

冬馬「（困って笑う）」

○デパート・店内（数日後）

♂と♀ゲージ、ゼロ。

冬馬、えりこ、歩いている。

えりこ「ごめんね、買い物付き合わせて」

冬馬「自分も買いたいものあったから」

えりこ「にしても奇遇。うちら同じ大学だったんだ」

冬馬「うん」

家電売り場でカップルが何かを見て笑っている。

えりこ「（カップルを見て）なんだろ？」

冬馬とえりこ、カップルのほうへいく。

AVによく出てくるマッサージ機が置いてあり、張り紙には「とても気持ちいいです」と意味深な宣伝文。

冬馬「…」

二人、気まずい。

えりこ「これ、私も同じの持ってる」

冬馬「え？」

えりこ「肩が凝るから寝る前にマッサージしてる」

冬馬「あー」

えりこ「なんか変な想像した？（笑う）」

冬馬「（笑う）」

○冬馬の部屋（夜）

♂ゲージ、ゼロ。

♀ゲージ、MAXに振り切れた状態が続いている。

冬馬、読書している。

冬馬、幸せそうに微笑む。

○冬馬の部屋のマンション・外観（翌朝）

♂ゲージ、MAX。

♀ゲージ、ゼロ。

○冬馬の部屋

♂ゲージ、徐々に萎んでゆく。

♀ゲージ、ゼロ。

冬馬のスマホが鳴る。

冬馬、スマホを見る。

えりこから以下のLINE、

「部屋、くる？」

♂ゲージ、MAX。

○電車内

♂ゲージ、MAX。

冬馬、吊革につかまっている。

○駅の階段

老人、重い荷物に苦戦している。

冬馬「手伝います」

冬馬、荷物を持って階段をあがる。

♂ゲージ、MAX。

○小川家・書斎（天界）

小川「（苛立つ）一体なんなんだ！」

○えりこの部屋

♂ゲージ、MAX。

♀ゲージ、徐々に高ぶっている。

冬馬とえりこ、見つめ合う。

二人、キスする。

二人、ベッドに倒れ込む。

○小川家・書斎

小川、映像に見入っている。

テロップで「♂ゲージ」が表示されている。

小川の♂ゲージ、MAX。

○えりこの部屋

冬馬とえりこ、ベッドの上で絡み合う。

えりこ「冬馬、一緒にいこ」

♀ゲージ、すでにMAXを越えている。

♂ゲージ、MAX寸前。

冬馬「あ、いきそう」

えりこ「いいよ、一緒にいこー！」

♀ゲージ、すでにMAXを越えている。

冬馬「（声が漏れる）」

♂ゲージ、一瞬MAXに振り切れ、ゆっくり萎んでく。

×

×

×

冬馬とえりこ、寄り添っている。

♀ゲージ、波打っている。

♂ゲージ、ゲージ自体が消失している。

えりこ「一緒にいっちゃったね」

冬馬「うん」

えりこ、冬馬に抱きつく。

○小川家・書斎

小川「（怒鳴る）一緒にいってないじゃないか！！」

小川、リモコンを手にする。

小川、早送りする。

数倍速で、冬馬とえりこが遊園地デートを楽しんでいる。

○大学・食堂（数日後）

♂と♀ゲージ、ゼロ。

数倍速で、えりこが男と話している。

えりこ、男と別れる。

通常再生になる。

えりこ、冬馬のもとに戻る。

冬馬「（むっと）今の誰？」

えりこ「サークルの先輩」

冬馬「…」

えりこ「（見て）もしかして私に焼いてる？」

冬馬「…」

えりこ「うちらって付き合ってたっけ？」

冬馬「（戸惑う）え、だって…」

えりこ「フツーにあるよ。それくらいのこと

と」

冬馬「…」

○冬馬の部屋（夕）

♂ゲージ、ゼロ。

♀ゲージ、MAX。

冬馬、落ち込んでいる。

×

×

×

♂ゲージ、ゼロ。

♀ゲージ、MAX。

冬馬、スマホを持ったまま深呼吸。

冬馬、えりこに電話する。

冬馬「もしもし」

えりこ「冬馬？」

冬馬「今平気？」

えりこ「うん。就活の説明会が終わったと

こ」

冬馬「今どこ？」

えりこ「先輩の家。一緒だったから」

冬馬「…あのさ、これから会えない？」

えりこ「これから？」

冬馬「えりこに伝えたいことがある」

えりこ「わかった」

♀ゲージ、萎まない。

○公園（夜）

♂ゲージ、ゼロ。

♀ゲージ、MAX。

冬馬、緊張している。

えりこ、やってくる。

えりこ、リクルートスーツ姿。

♂ゲージ、高まる。

♀ゲージ、MAX。

えりこ「話って？」

冬馬「…今日さ、付き合ってるの？ って話になったじゃん。だからそれをハッキリさせてきて…」

えりこ「うん」

冬馬、えりこを見つめる。

♂ゲージ、MAXになる。

二人、ゲージMAXで向き合う。

冬馬「えりこが好きだ。俺と付き…」

画面、暗くなる。

○小川家・書斎（天界）

テレビの電源、消えている。

小川、リモコンをおく。

小川、立ち上がる。

小川、ゴミ袋を取り出す。

小川、棚のDVDをゴミ袋に入れてゆ

く。

百合子、ドアの隙間から様子を伺っている。

百合子「（にやり）」

○カフェ・店内（天界・一ヶ月後）

百合子、亮子、由香の三人、話している。

百合子「（嘆く）夫が友情鑑賞にハマって

る」

○小川家・書斎（天界）

室内の棚にずらりと並んだDVD。

DVDの背表紙に「富樫光輝と山田竜之

介」 「坂井結芽と田中アリス」などの名前が書かれている。

テレビ画面に二人の男。

男たち、ガッチリ握手を交わしている。

小川、むせび泣いている。

○家電量販店・店内（天界）

百合子、店内を見渡している。

恋愛鑑賞バスターの辺りを見る。

張り紙が出ている。

張り紙に以下の文字。

「友人鑑賞バスター 発売日未定」

（おわり）